



# 日本語インターンシッププログラム報告書

研修生：大矢幸世

[2013年2月24日～3月22日 (27日間)]

研修先

香港城市大学専上学院 語文及傳意学部

日本語教師数

常勤講師6名、非常勤講師複数名

実習時間：350分(7コマ×50分)

見学時間：650分(13コマ×50分)

キャンパスは2つあり、メインキャンパスの九龍塘キャンパスと九龍湾キャンパスがあり、両キャンパスとも駅から近い。



日本語を主に学習するコースと、日本語と他言語を同時に学ぶコースとがある。大学に入ってから初めて日本語を学び始めた人から、語学学校等で学んだ既習者までおり、クラス内での差は大きい。しかしながら、クラス内では学習者同士で切磋琢磨し合う姿が多く見られ、授業内でその差が大きく感じられるようなことはほとんどなかった。

## 1ヶ月のスケジュール

1w

授業見学

2w

3w

4w

実習・授業参加・交流会

修了証書  
授与



## 授業について

使用教材：『大家的日本語』

（『みんなの日本語』の台湾版）

各先生方が作成したプリント等

各課を文法の授業、書く授業、会話の授業に分け、1セットとしている。

### ①文法

- ・日本語＋英語
- ・合同クラスでの一斉講義

### ②書く

※ 授業見学をしていないため省略

### ③会話

- ・日本語  
（時々広東語または英語を使用）
- ・1クラス約20～27名

まず、文法の授業で新出単語や新しい文型を習う。書く授業と会話の授業では、教科書内の新出単語等は習得済みとして授業を行うため、授業目的を遂行しやすい。

実習では1セット中で最も時間が多い、会話の授業を担当させていただくことが多い。



## 交流会について

九龍塘キャンパスと九龍湾キャンパス両方で、交流会を開いていただいた。自由に時間を使わせてもらえることになったので、簡単に私のこと、姫路獨協大学を紹介した後、クイズ大会をすることにした。

日本通な学生たちに、日本の面白い文化等を紹介する良い機会になった。正解、不正解に限らず、楽しんでもらったようで良かった。また、クイズをきっかけに、話が広がった。

そしてなにより、私自身の緊張がほぐれた、大変貴重な時間となった。

## 宿泊先について

ホテル：The Anne Black - YWCA

最寄り駅：旺角東駅（徒歩10～15分）

九龍塘キャンパスまでは一駅

ホテル1階のレストランは少々割高であったが、コンビニやパン屋、スーパーなど学校や住宅街がホテル付近にあるので充実していた。

Wi-fiがホテルのロビーにしかないのが不便だが、ホテルの隣にある図書館でWi-fiが無料で利用できる。



# 生活について

気 候：日本より日中は暖かく、3月末になると初夏を感じる。  
しかし、湿度が高いため、朝晩は寒く感じるので衣服で調節ができるが良い。  
なお、多湿のため気温が低くても学内やビル内で冷房がついているので注意！

便利な物：オクトパスカード……HK\$150 で購入。交通機関やコンビニ、学内でも使える  
買い物袋………小さめのものを毎日持っていれば、レジ袋購入不要  
箸&袋止めクリップ…ホテルで、一人で食事をする際にあると良い

費用：航空費  
保険料  
宿泊費 0  
生活費  
(含交通費・観光費) 約 40,000

\*航空費・保険料・宿泊費・国内交通費は国際交流基金からの補助により不要。



**実**習において、これまで大人数の前で話す機会がなかったため、終止緊張しがちであった。また、限られた時間の中で、多くの学習者に気を配ろうとして時間が足りなくなることがあった。学習者の活動時間の制限だけでなく、授業内で積極的に発音指導や文の訂正についても行えていなかった。そして、学習者が積極的に楽しく学習できるように、もっと様々なシチュエーションを考えることができれば良かった。どんな目的で日本へ行くか、外国環境下での日本人との関わり等を考える良い機会となった。

**授**業後や週末には、学生たちに香港を案内してもらったり、広東語を教えてもらったりした。今回、初めて一人で外国へ行き、とても感謝しきれないほど、諸先生方をはじめ本当にたくさんの方々に助けていただいた。このような機会を与えられたことによって、新たな知識を得られることができ、とても有意義で充実した1ヶ月を過ごすことができた。

